

九州地域国内肥料資源利用拡大ネットワーク メールマガジン vol.29

九州地域国内肥料資源利用拡大ネットワーク 会員の皆様

日頃より農林水産行政及び国内肥料資源の利用拡大に関する取組等へのご理解・ご協力ありがとうございます。

令和 7 年 11 月 30 日現在時点で、259 の機関・個人の皆様に会員登録をいただいております。

ネットワーク事務局より 3 点情報提供させていただきます。

【今回の情報提供・お知らせの内容】

1. 「スマート農業推進フォーラム 2025 in 九州／みどり技術ネットワーク地域会議 ～未来を拓く、九州のスマート農業革新！～」のご案内
2. 令和 7 年度農林水産関係補正予算の閣議決定
3. 「令和 7 年度農作業安全ポスターデザインコンテスト」の受賞作品の決定

国内肥料資源の利用拡大に向けたシンポジウム in 九州を開催！

[国内肥料資源の利用拡大に向けたシンポジウム in 九州 | マイナビ農業](#) ←クリック！

■開催日：令和 8 年 2 月 4 日（水）13:00～

■開催場所：くまもと森都心プラザ プラザホール（熊本市西区春日 1 丁目 14-1）

※詳細は今しばらくお待ちください。

1. 「スマート農業推進フォーラム 2025 in 九州／みどり技術ネットワーク地域会議 ～未来を拓く、九州のスマート農業革新！～」が開催されます！

農林水産省と九州農政局、農研機構九州沖縄農業研究センターは、農業の生産性向上に向けたスマート農業技術や環境と調和のとれた新たな農業技術を広く紹介するため、「スマート農業推進フォーラム 2025 in 九州／みどり技術ネットワーク地域会議」を開催します。

初日は、市民会館シアーズホーム夢ホール（熊本県熊本市）において、基調講演と取組事例等の紹介、二日目は、九州沖縄農業研究センター（熊本県合志市）において、スマート農業機械等の展示及び実演を実施します。

環境負荷低減に資する技術や局所施肥技術など肥料に関する技術の紹介もありますので、皆様のご参加をお待ちしております。

[「スマート農業推進フォーラム 2025 in 九州／みどり技術ネットワーク地域会議 ～未来を拓く、九州のスマート農業革新！～」の開催について：九州農政局](#) ←クリック

【日時】

■1 日目：令和 7 年 12 月 11 日（木曜日）10 時 30 分～17 時 30 分

場所：市民会館シアーズホーム夢ホール（熊本市市民会館）大会議室、展示ホール 他（熊本県熊本市中央区桜町 1-3）

■2 日目：令和 7 年 12 月 12 日（金曜日）10 時 00 分～15 時 00 分

場所：農研機構九州沖縄農業研究センター 大会議室、所内ほ場 他（熊本県合志市須屋 2421）

【内容】

【第一部 みどり技術ネットワーク地域会議】＜1 日目 10 時 30 分～12 時 45 分＞

(1) 基調講演「環境負荷低減とスマート農業技術」

・公立大学法人熊本県立大学 教授 松添 直隆 氏

(2) パネルディスカッション「農業の環境負荷低減の取組における新技術の活用」

【第二部 スマート農業推進フォーラム 2025 in 九州】<1日目 14時15分～17時30分>

(1) 企業によるシステム開発や生産者の挑戦について

(ア) 営農支援システムによる農業の見える化

- ・ AI と衛星データを活用した栽培管理支援システムの紹介
- ・ 機械連携と ICT 技術の融合によるデータ駆動型農業の実現
- ・ ドローン空撮画像からは場高低差マップや可変散布マップを自動で作成する解析プラットフォームの開発

(イ) 生産方式の見直しによるスマート農業技術の効率化

- ・ 株式会社果実堂
- ・ 農事組合法人熊本すぎかみ農場

(2) 農林水産省からの話題提供

【第三部 スマート農業及びみどり技術に係る展示と実演】<1日目午後、2日目>

スマート農業技術やみどり戦略に関連する取組の紹介や関係者間のマッチングのため、IPCSA（[スマート農業イノベーション推進会議\(IPCSA\)](#)）や関係事業者等によるブース展示や実演等を行います。

(1) パネル等の展示

日時：令和7年12月11日（木曜日）12時00分～17時30分

場所：市民会館シアーズホーム夢ホール（熊本市市民会館）展示ホール 他

内容：関係団体、農研機構などによる展示ブースを設置

(2) スマート農機等の展示・実演

日時：令和7年12月12日（金曜日）10時00分～15時00分

場所：農研機構九州沖縄農業研究センター 大会議室、所内ほ場 他

内容：民間企業等によるスマート農機やみどり戦略に資する機械等の展示、実演

(ア) 展示

- ・ 室内展示 パネル、小型農業機械等
- ・ 屋外展示 農業機械等

(イ) 実演

- ・ トラクター、ドローン、草刈機等

(注) 展示企業等は公募により選定します。出展者は、決まり次第、ホームページで公表します。

=====

2. 令和7年度農林水産関係補正予算について

令和7年11月28日（金曜日）に令和7年度農林水産関係補正予算が閣議決定されました。

農林水産省関係の内容については、以下のホームページをご確認ください。

[令和7年度農林水産関係補正予算の概要：農林水産省](#)

国内資源由来肥料の施設整備や栽培実証等を支援する「国内肥料資源利用拡大対策事業」も引き続き要求されています。

https://www.maff.go.jp/j/budget/pdf/r7hosei_pr15.pdf

（令和7年度補正予算額 70 億円）

今後、国会で審議され、補正予算成立となりましたら、事業説明会等が開催されることとなります。詳細につきましては、引き続き本メールマガジンで案内します。

=====

3. 「令和7年度農作業安全ポスターデザインコンテスト」の受賞作品の決定について

農作業中の死亡事故は年間約 250 件発生しており、農作業事故防止に向けた対策を強化し、事故件数を減少させることが極めて重要な課題となっています。

九州地域においては、冬季は農閑期ではなく、畑作物（麦など）、園芸作物（トマトなど）の栽培も盛んであり、肥料散布を含む農業機械類の取扱いにより注意が必要です。

この度、令和 7 年度農作業安全ポスターデザインコンテストにおいて、農林水産大臣賞をはじめとする受賞作品が決定しましたのでお知らせします。

[「令和 7 年度農作業安全ポスターデザインコンテスト」の受賞作品の決定について：農林水産省](#)←クリック

肥料利用者のみならず、原料供給者、肥料製造事業者の皆様におかれましても、各種作業中の安全対策を十分に心がけてください。

農林水産省では、令和 5 年の農業機械作業に係る死亡事故が、農作業死亡事故全体の約 3 分の 2 を占める状態が継続していることを踏まえ、「12 月から 2 月」までを「農業機械作業研修実施強化期間」とし、農業者への農作業安全研修を通じて、農業機械作業の安全対策の強化を推進しています。

研修用にご活用いただける資料は、こちらの HP に掲載しております。（参考：[農作業安全の啓発資料：農林水産省](#)）

ぜひご活用ください。

=====

★会員の皆様からの情報を受け付けています

国内肥料資源の利用拡大に関する会員の皆様からの情報を随時受け付け、関係者による取組に関する情報を発信します。

会員の皆様からの情報は、[こちら](#)から受け付けております。

★メールマガジンバックナンバーはこちら

[メールマガジンバックナンバー：九州農政局 \(maff.go.jp\)](#)

★ネットワーク会員登録について

会員登録を希望される方は「九州地域国内肥料資源利用拡大ネットワーク設置要領」をご覧ください、内容について同意の上、登録フォームから会員登録をお願いします。

[九州地域国内肥料資源利用拡大ネットワーク：九州農政局](#)

なお、申し込みによって得られた個人情報は、本ネットワークの活動以外には使用しません。

[九州地域国内肥料資源利用拡大ネットワークの会員登録について：九州農政局 \(maff.go.jp\)](#)

★会員登録情報の変更及び退会について

【担当者の変更】

担当者が変更となった場合は、新担当者にて、改めて上記フォームより会員登録をお願いします。

その際、必ず、フォームの「その他」の欄に、前任の担当者情報（所属、氏名等）を記載し、担当者が変更となった旨を記載してください。

【登録情報の変更】

登録者にて、改めて、改めて上記フォームより変更後の情報を登録してください。

その際、必ず、フォームの「その他」の欄に、旧情報（所属、氏名、メールアドレス等）を記載し、登録情報が変更となった旨を記載してください。

【退会】

登録者にて、改めて、上記フォームより、登録情報を入力し、フォームの「その他」の欄に、退会する旨を記載してください。若しくは、ページ下部の問い合わせ先まで電話でご連絡ください。